

早期胃癌の内視鏡的粘膜下層剥離術において病変への切り込みが及ぼす再発のリスクの評価

1. 研究の対象

倫理審査委員会承認後～2017年12月に、当院で、早期胃癌に内視鏡治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

下記の条件を満たす方の再発の有無を調べる。

切除標本の病理組織診断が下記の条件を満たす。※病理組織診断は胃癌取扱い規約（第14版）3に基づく。

- a. 分化型胃癌
- b. 深達度 pT1a
- c. 脈管侵襲陰性
- d. 側方断端陰性
- e. 垂直断端陽性もしくは不明瞭（VM+ or VMX）

ESD後に経過観察目的に1回以上の上部内視鏡検査が施行されている。

研究期間：2019年5月1日～2019年8月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、内視鏡治療の病理結果、再発の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

大阪国際がんセンター 消化管内科 金坂 卓

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上